

愛知医科大学 第2回教員活動状況報告書

平成30年3月

目次

はじめに

1	評価の概況	1
2	評価項目について	2
3	自己評価の結果	
	(1) 結果の評価方法	2
	(2) 医学部	3
	・評価の進め方	
	・学部全体の比較と考察	
	・部門別の比較と考察	
	(3) 看護学部	8
	・評価の進め方	
	・学部全体の比較と考察	
4	今後の課題	9
	・医学部	
	・看護学部	
5	まとめ	10
6	添付資料	
	・ご参考1 教員評価表（医学部）教員評価表（看護学部）	
	・ご参考2 部門・所属一覧	

はじめに

愛知医科大学長 佐藤 啓二

本学の教員評価は、学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 109 条第 1 項の規定に基づき、愛知医科大学における教育研究活動の一層の進展に資するため実施する点検・評価のうち、教員活動に関する点検・評価の実施について「愛知医科大学教員評価規程（平成 22 年 11 月 15 日制定）」を定め、2011 年から 2013 年の 3 年間を第 1 回教員評価期間としてまとめ、続く 2014 年から 2016 年度の 3 年間を第 2 回教員評価期間として活動し、今回の「教員活動状況報告書」の作成に至りました。

今回の「教員活動状況報告書」では、第 1 回（2011 年から 2013 年）の評価結果と第 2 回（2014 年から 2016 年度）の比較を行い、大学の方針に基づき実施された取り組みにより、教員活動にどのような変化があったかを考察することとしました。

教員評価を実施する目的には、(1) 評価結果を通して明確になった課題を解決しながら、教員評価の仕組みを活用することで本学の改善や発展に結びつけること、(2) 社会への説明責任を果たすこと、(3) 外部評価機関による点検・評価への対応としており、評価制度を用いた PDCA サイクルの中で活動の変化を確認することは、本学の大学改革への取り組み状況を確認すると同時に、新たな課題を浮き彫りにし、次のアクションにつながるものと言えます。

教員評価制度は、2019 年度に受審を予定している医学教育分野別認証をはじめ、さまざまな外部評価機関から、評価結果の処遇反映等が求められる等、制度の重要性が高まってきています。今後は、これらの外部評価機関からの要請にも応え、大学改革を推進する重要な役割を担えるよう、教職員が一体となり鋭意取り組んでいきます。

1 評価の概況

(1) 自己評価の提出状況について (図表 1 参照)

提出数推移

図表 1

部門	2011 年	2012 年	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年
医学部	241	228	230	174	339	378
看護学部	40	32	25	16	40	44
計	281	260	255	190	379	422
提出率	68.5%	62.2%	60.6%	49.90%	93.3%	100%

<提出率向上の取り組みとその結果>

① 教員評価制度への理解促進

医学教育の国際標準化問題への対応により、医学教育分野別認証受審に向けたカリキュラム改革等に取り組む中、教員評価制度も必須事項とされていることについて、対象教員への周知を図った。

② 提出方法の簡略化

教員評価制度特有のシステムを利用するのではなく、普段から利用しているメールシステムによる提出方法を用いることで、提出方法の複雑さを解消した。これにより提出への心理的抵抗を排除し、提出時の手間を省くこととした。

③ 論文等エビデンス添付の省略

2011 年の制度導入時は、研究領域の評価提出の際に、論文のコピー添付、学会活動については、学会発表等のわかる資料のコピー添付を必要としていたが、2014 年以降省略し、自己評価提出における作業負担軽減を行った。

④ 教職協働による制度実施

制度の運用について、教員、職員が一体となって取り組むこととし、事務系職員の委員を追加選任したことに加え、委員会において提出率 100%を必達目標と定め、制度運用を教職協働により実施した。

以上の取り組みにより、2011 年から 2014 年にかけて低下傾向にあった提出率は 2015 年以降上昇し、2015 年度 93.3%、2016 年度は提出率 100%を達成することとなった。

2 評価項目について

評価項目については、2011年～2013年と同一の内容で行った。医学部及び看護学部共に基本コンセプト、評価項目のアウトライン、集計ツール等仕組みのベースを同一にした上で、詳細な評価項目等は組織実態に即して若干の相違がある。

ここでは、基本的な評価項目を掲載する。

(詳細は、別紙ご参考1、両学部の教員評価表を参照)

【領域別評価項目】

(1) 「教育」領域

①学部学生教育、②研修医教育、③大学院教育、④教員教育 (FD)、医療従事者教育、⑥その他

(2) 「研究」領域

①著書、教科書等、②原著論文、③学会報告、④受賞、⑤外部資金獲得

(3) 「組織運営」領域

①大学の委員会、②学部の委員会、③病院の委員会、④講座関係、⑤その他

(4) 「社会貢献」領域

①学内講師、②学外講師、学会役職、行政の委員、マスコミ

3 自己評価の結果

(1) 結果の評価方法

本学の教員評価制度では、3年毎に評価のとりまとめを行い公表することとしている。2011年から2013年を第1回とし、2014年から2016年度を第2回とし、本報告書においては、第1回と第2回の比較による変化を確認していくこととした。

前述のとおり、提出率が大幅に改善したため第1回と第2回を適切に分析するため、第1回、第2回共に評価結果のある教員を対象として比較を進めることを基本とした。対象データ数は図表2のとおりとした。

図表 2

学部	部門	第1回	第2回	対象データ
医学部	基礎科学	12名	14名	12名
医学部	基礎医学	51名	60名	40名
医学部	臨床・内科学	50名	75名	39名
医学部	臨床・その他	129名	205名	97名
医学部	臨床・外科学	15名	36名	9名
医学部	附属施設等	23名	34名	18名
看護学部		43名	49名	24名
合計		323名	473名	239名

評価結果の解析手順は、対象データを個人毎に第1回、第2回の平均値を算出した上で、第1回、第2回の所属毎の平均値を求めた。第2回に含まれる2015年分を、年単位から年度単位に変更したことにより、第2回は39月が対象期間となっていることから、第2回の値には、調整係数(36月/39月=0.923)を掛けて扱うこととした。

また、領域毎に配点の重みづけに違いがあるため、領域毎の変化に着目し、第1回を100とし、第2回の各領域の値について前回比を算出して比較を行うこととした。

以降は各学部の比較を行う。

(2) 医学部

【評価の進め方】

3年間の教員活動の評価は、各教員が「教育」「研究」「組織運営」「社会貢献」の4領域の得点を評価表に記入して提出し集計を行った。

医学部の部署を①基礎科学部門、②基礎医学部門、臨床系を③内科学部門、④同外科学部門、⑤その他部門の3部門、⑥付属施設等の6部門に便宜的に分類した。最初に医学部全体の傾向を第1回と比較検証した上で、6部門それぞれの比較について、検証を進める。

<106 部署の内訳>

① 基礎科学部門：

一般教育科目の心理学、数学、外国語等7講座

② 基礎医学部門：

解剖学、生理学、生化学、薬理学等の9講座

③ 内科学部門：

消化管内科、肝胆膵内科、循環器内科等臨床系の内科学9講座、9診療科

④ 外科学部門：

消化器外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科等の臨床系外科学6講座、5診療科

⑤ その他部門：

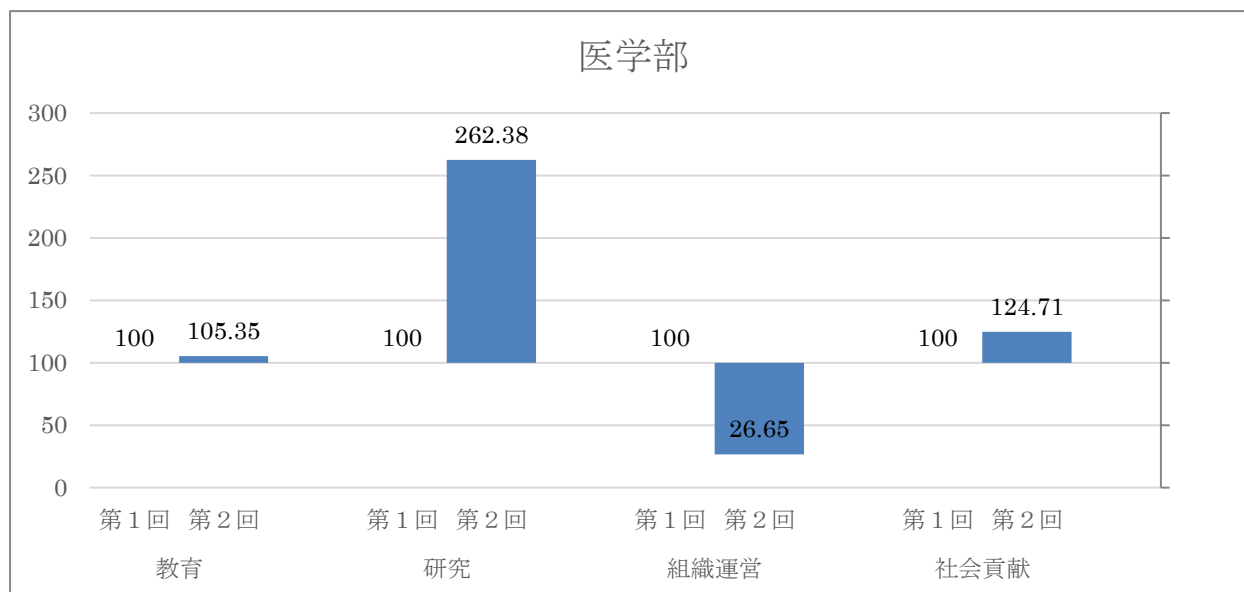
臨床系講座のうち内科学講座と外科学講座を除いた、臨床系講座の11講座と病院各診療科等

⑥ 付属施設等：

メディカルクリニック、運動療育センター、総合医学研究機構、先端医学研究センター等

(詳細は別紙 ご参考2「部門・所属一覧」参照)

<医学部全体>



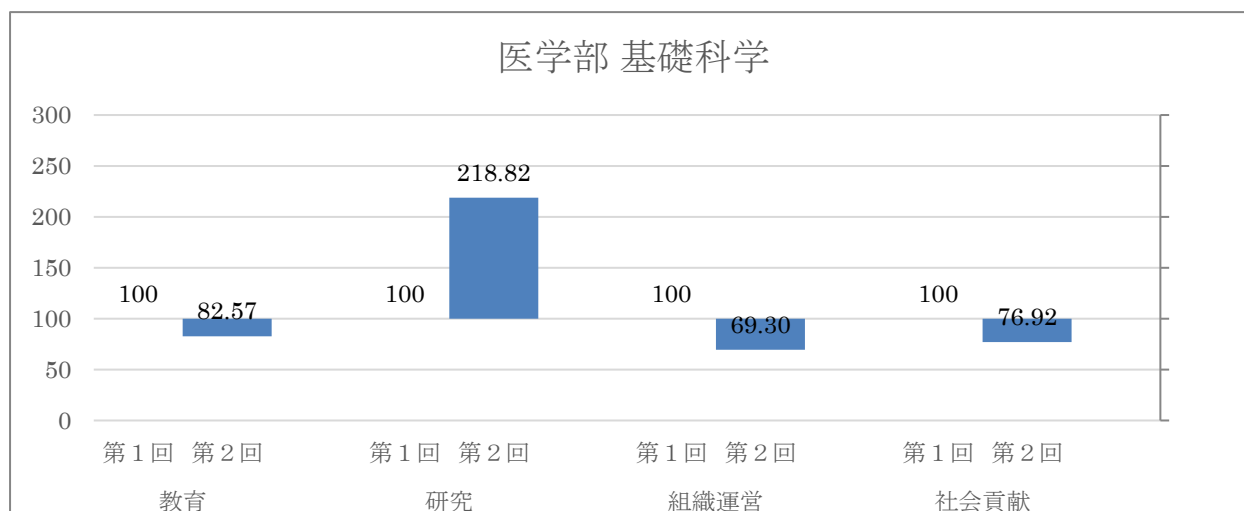
(第1回と第2回の比較)

領域別で比較をした場合、教育領域で 105.35%、研究領域で 262.38%、社会貢献領域で 124.71% に増加していることに対し、組織運営領域は 26.65% に減少した。

(考察)

- ① 教育領域は、2014 年から医学教育分野別評価への取り組みが本格化し、実習時間増加への対応を含めたカリキュラム改訂への取り組みや、医学教育センターをはじめとした教育組織の充実が図られた。特に FD (教員研修) は 2014 年度に 4 回実施し、従来合宿形式で行っていたものを講演形式にして参加しやすくした他、グループ討議を導入する等の改善を行っている。2015 年度、2016 年度以降も FD は継続して実施しており、教育に対する意識向上が進んだ結果、教育活動にかかわる教員が増加した。
- ② 他の領域では、特に研究領域の活発化が顕著である。2015 年度から、科学研究費申請数増加プロジェクト (Jump UP 作戦) を実施し、若手研究者を対象に研究計画の立案支援をはじめとした支援事業を行ったことにより、申請数は 128 件から 182 件に大幅増加している。2016 年度に研究創出支援センターが設立されたことにより、同プロジェクトの支援体制が強化されている。また、科学研究費助成事業に申請したものの、不採択で「A 評価」を受けた教員に対しては、次年度採択に向けた研究費支援を行うなど、研究活動に対する意欲向上を図った結果といえる。
- ③ 社会貢献領域については、学内外における公開講座、学会役員その他、行政における委員やメディアへの出演等が該当している。運動療育センターにおける長久手市との提携事業への取り組みや、災害医療研究センター等の設置も、これらの活動を牽引しているといえる。
- ④ 組織運営領域は主に委員会活動が該当する。2011 年から 2013 年にかけては、新病院建設プロジェクトが活発に行われていたが、新病院は 2014 年 5 月に開院しプロジェクトが無事に終わったこともあり、組織運営活動が見かけ上減少することとなったが、学部の運営方針として特に問題はない。

<基礎科学>



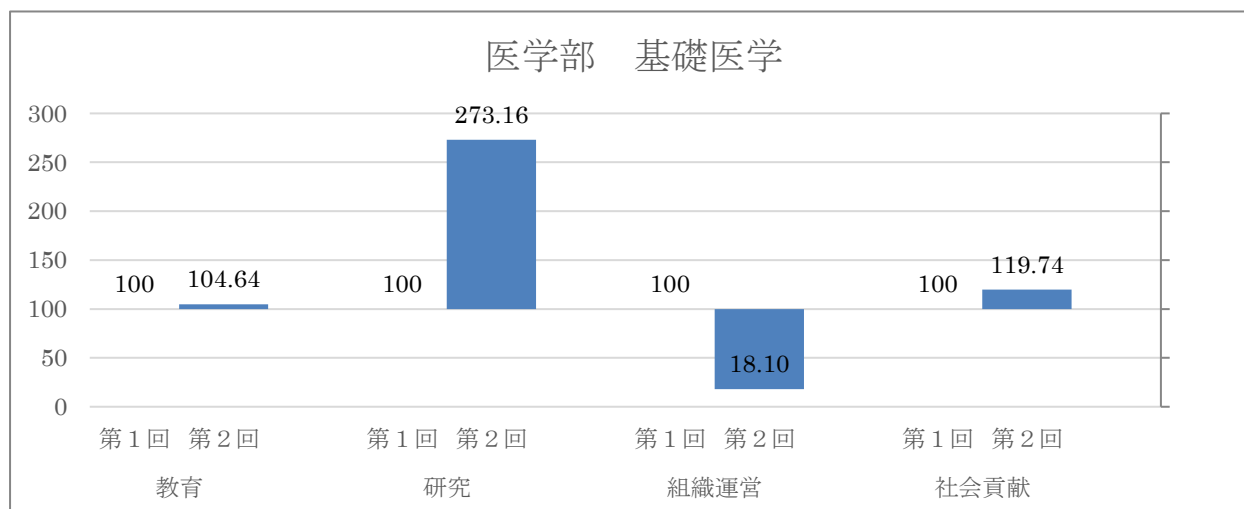
(第1回と第2回の比較)

研究領域は218.82%に上昇し、教育領域が82.57%、組織運営領域が69.30%、社会貢献領域は76.92%に減少した。

(考察)

学部全体の傾向と同様に研究への意識の高まりがうかがえる。教育領域が減少している点については、担当授業数を入力する際、「同一授業を教室の定員都合により2回に分けて行った場合」等の解釈に相違のある事例があり、第2回では「1コマ」と入力するよう統一を行ったことによる影響が出た。

<基礎医学>



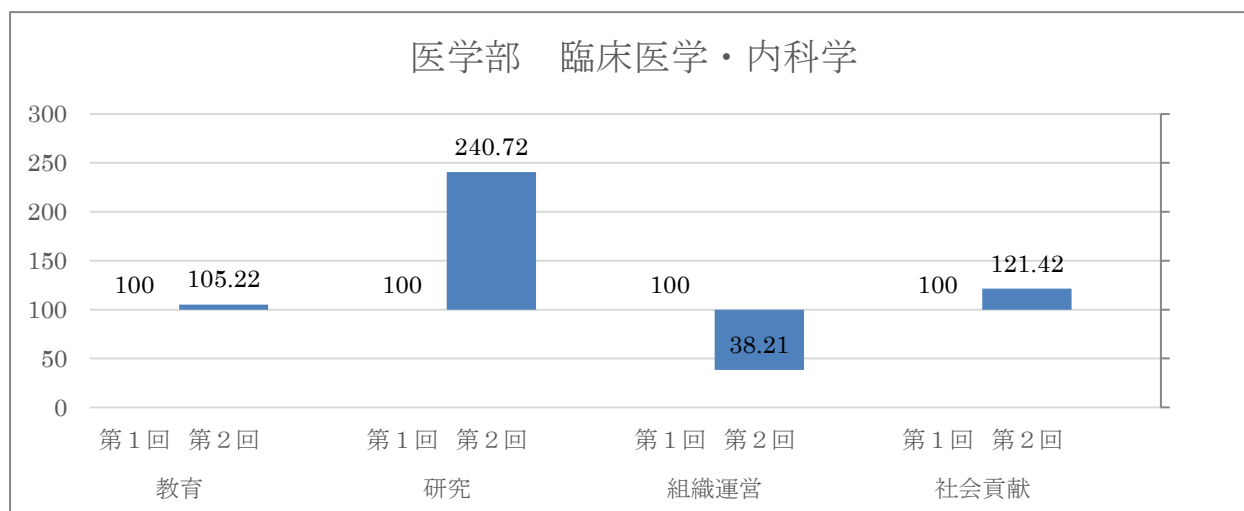
(第1回と第2回の比較)

教育領域で104.64%、研究領域で273.16%、社会貢献領域で119.74%に上昇し、組織運営領域で18.10%に減少となった。

(考察)

教育領域、研究領域、社会貢献領域の3領域が上昇している傾向は、学部全体の傾向と概ね一致しているなか、研究領域の伸びが特に大きく、研究促進策、支援策の効果が表れたと言える。

<臨床・内科学>



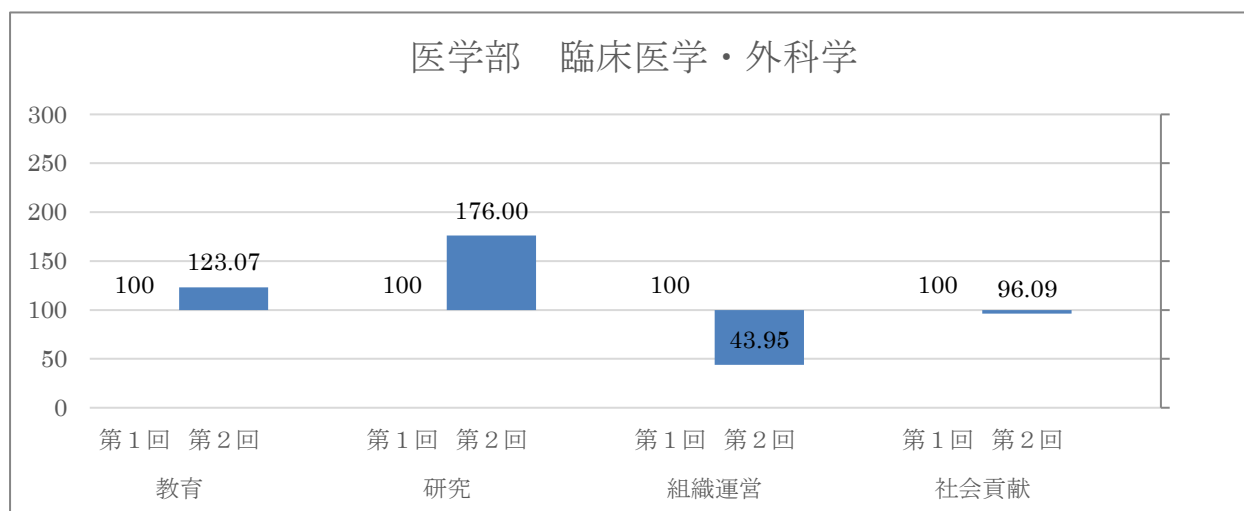
(第1回と第2回の比較)

教育領域で105.22%、研究領域で240.72%、社会貢献領域で121.42%に上昇した。組織運営領域は38.21%に減少となった。

(考察)

教育領域、研究領域、社会貢献領域の3領域が上昇している傾向は、学部全体の傾向と概ね一致している。社会貢献領域には、学会活動等が含まれており、研究領域と合わせて活発化が進んだと言える。

<臨床・外科学>



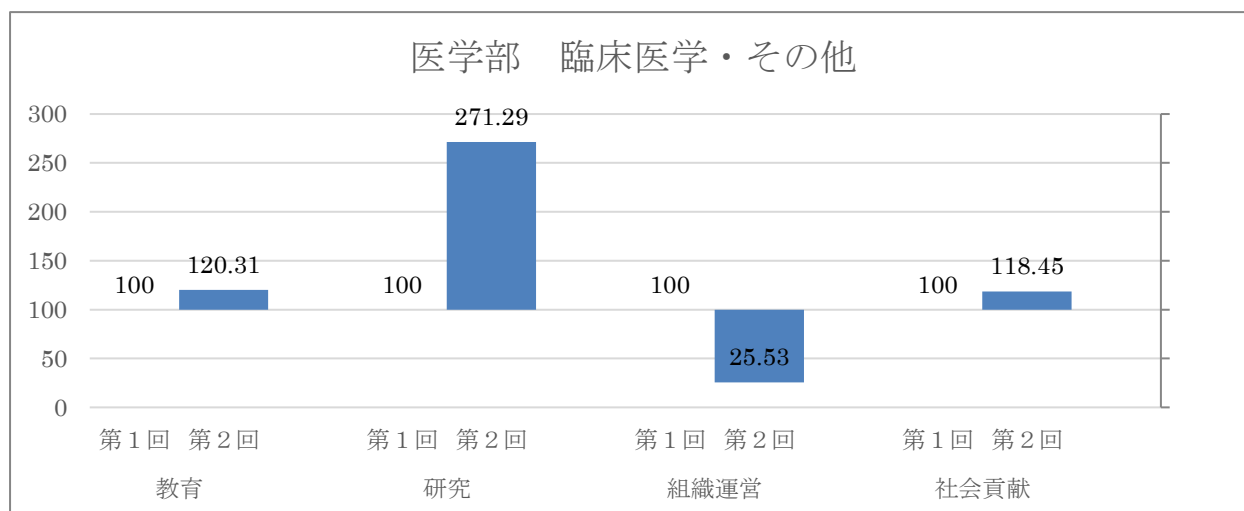
(第1回と第2回の比較)

教育領域で123.07%、研究領域で176.00%に上昇し、組織運営領域が43.95%に、社会貢献領域が96.09%に減少となった。

(考察)

臨床実習に携わる教員の増加が、教育領域の上昇に表れている。研究領域の増加は、学部全体の傾向と一致している。

<臨床・その他>



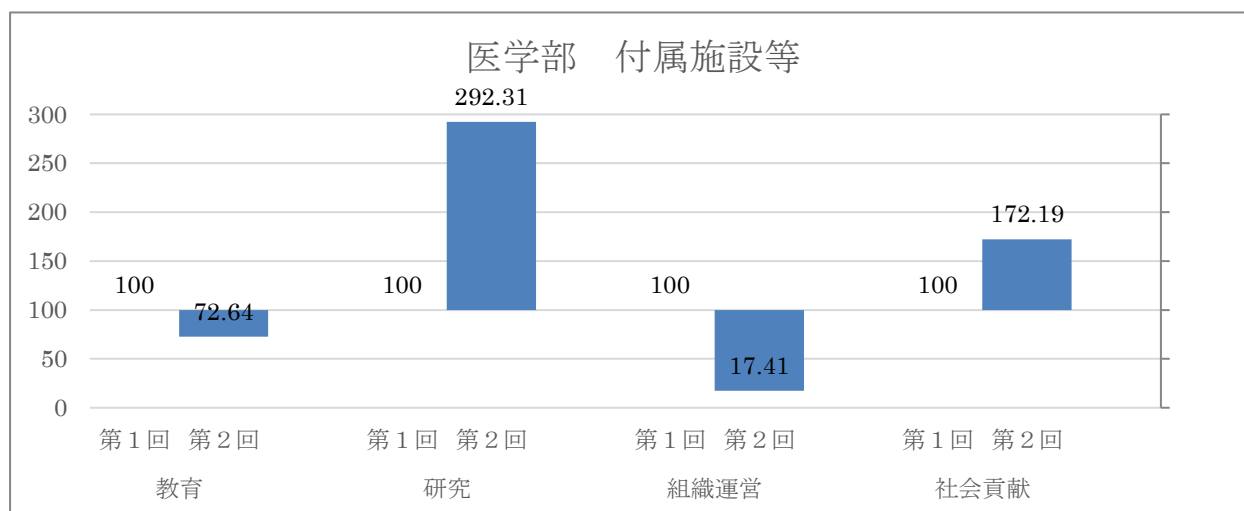
(第1回と第2回の比較)

教育領域で120.31%、研究領域で271.29%、社会貢献領域で118.45%に上昇し、組織運営領域は25.53%に減少となった。

(考察)

臨床実習に携わる教員の増加が、教育領域の上昇に表れている。社会貢献領域には、学会活動等が含まれており、研究領域と合わせて活発化が進んだと言える。

<付属施設等>



(第1回と第2回の比較)

研究領域で292.31%、社会貢献領域で172.19%に上昇した。教育領域で72.64%に、組織運営領域で17.41%に減少となっている。

(考察)

付属施設等には、近年設立された、寄付講座や、横断的なセンターが含まれている。大学の中でも、特に研究領域、社会貢献領域における活動を牽引する役割を担っていることが鮮明に表れている。

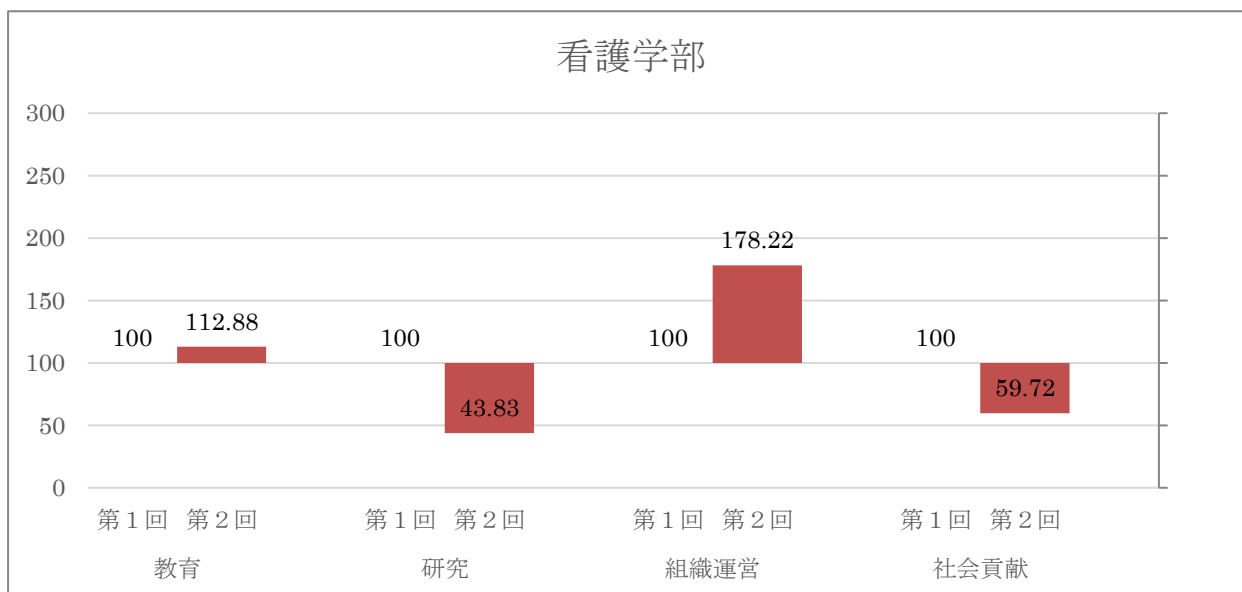
(3) 看護学部

【評価の進め方】

3年間の教員活動の評価は、各教員が「教育領域」「研究領域」「組織運営領域」「社会貢献領域」の4領域の得点を評価表に記入して提出し集計を行った。

医学部のように講座規模の組織編成ではないことから、2011年～2013年を対象とした第1回の活動報告書では、職名別に集計して教員活動の評価する方法と、授業科目の「分野・領域」別に集計して評価する方法に分けて行ったが、今回は、学部全体の傾向を前回と比較することとした。

<看護学部全体>



(第1回と第2回の比較)

領域別で比較をした場合、教育領域で 112.88%、組織運営領域で 178.22%に増加していることに對し、研究領域は 43.83%、社会貢献領域は 59.72%に減少した。

(考察)

- ① 教育領域については 112.88%に上昇しており、教育面の活動が活発化している。教育活動の成果は、看護師国家試験結果に顕れており 2015 年度以降合格率 100%を達成している。また、看護学部 FD 委員会が中心となって実施している FD (教員研修) は、2014 年度以降年 3 回実施し、学外講師を招聘しての講演や、若手教員を対象とした教育実践セミナー等を開催しており、教育の質向上につながったと言える。
- ② 続いて、組織運営領域が 178.22%に上昇している。2016 年度以降、看護学部所属の教員全員が何らかの委員会活動等の組織運営にかかわっていく体制がとられた結果が表れている。
- ③ 看護学部の特徴として、研究領域が低い傾向がある。学部における学生教育に多くの時間を費やすことになり、研究活動に取り組む時間的な余裕が乏しく、研究活動が進みにくい傾向が続いており、引き続き、研究活動への支援体制の充実を含め、体制強化が必要となっている。

4 今後の課題（組織横断的に共通する課題や今後検討が必要な課題）

<医学部>

□教員評価制度の定着

60%台で推移した 2011 年～2013 年に対し、2016 年度は 100%に到達し、教員評価制度の定着については一定の成果を得ることができた。対象教員の全員参加は、制度を適切に運用し、教員評価結果を用いた教員活動の一層の改善を図るには、必要不可欠な要件であることを再認識し、提出率 100%を継続させていく。

□評価方法、評価基準やパフォーマンス測定について

所属部門や講座、役職の役割を考慮した場合に、一律な評価基準や価値では適切な評価が難しく評価方法の見直しは引き続き課題となっている。特に医科大学の特性上、臨床系教員の活動時間の多くは大学病院における診療が占めていることについて、対応を検討していく必要がある。

□教育領域の活動について

教育の質を高めるには、本学の教員全員の取り組みが必要となっている。特にグローバルスタンダードに準拠したカリキュラム改訂により、臨床実習時間が大幅に増加していることから、臨床系教員の教育活動への参画が重要となっており、臨床教員の教育領域の活動が活発化するような支援が必要と言える。

□研究活動の成果について

科研費申請数増加プロジェクトをはじめとした研究活動支援策により、研究活動に力を注ぐ教員が増加したことは、一定の成果である。平成 28 年度に設立した研究創出支援センターにて、研究支援体制も整い、競争的資金の獲得、論文数の増加等、今後の伸びしろのある領域と言える。

□全ての教員が組織運営にかかわる機会の提供

組織運営に携わることは、組織人としての意識を高めることにもつながるといえる。大学、病院の組織運営に、若手教員を含めすべての教員が参画できるような仕組みが必要と言える。

<看護学部>

□教育成果の維持

教育活動の活発化は国家試験合格率 100%の成果に顕れているが、看護系学部の増加に伴い学生獲得競争が激化する中で、教育の質を高めることで、成果を維持していく必要がある。

□研究活動の活性化について

学生教育に重点を置いてきたことにより、研究活動が進みにくい傾向が続いている。大学で行われている研究支援体制の積極的な活用による研究活動の活性化が求められている。

5 まとめ

本学は、2014年から2016年度の3年間の業績を自己評価し、第2回教員評価を実施した。今回は、2011年から2013年までの評価結果と比較を進めることで、この間の大学改革への取り組みと、本学教員の活動状況の変化と成果の関連が見えてきている。

18歳人口の減少、グローバル化への対応をはじめ、本学を取り巻く環境変化はめまぐるしく、所属教員は、変化への対応が求められる厳しい環境下で教員活動にあたっている。

教員評価導入の真の目的は、評価結果から課題を抽出して改善に取り組むことにある。そのためには、顕在化した課題解決に取り組むと同時に、環境変化に合わせて評価の仕組みを改善し、結果の振り返りにより今後の改善を教員が自ら考えていくような仕組み作りと意識改革が重要であると考えている。その延長線上で教員活動が益々活性化され、組織力が強化され、本学の教育・研究活動を質的に向上させていくことが必要である。

教員評価表（医学部）

所属	職名	職員番号	氏名	提出期限
		0		2015/10/16

領域	2014	2015	2016	合計
1 教育	0			0
2 研究	0			0
3 組織運営	0			0
4 社会貢献	0			0
総合ポイント	0	0	0	0

1教育

領域合計点へ

1教育	基準単位	ポイント		2014	小計
(1) 学生教育					
(a) 通常講義	1 コマ	2	件数	0	0
	コーディネーター	5	件数	0	0
			ポイント計	0	0
(b) 総合医学	1 コマ	2	件数	0	0
			ポイント計	0	0
(c) 留年生補習講義	1 コマ	2	件数	0	0
			ポイント計	0	0
(d) 他の学部/大学の講義	1 コマ (学内)	2	件数	0	0
	1 大学 (学外)	4	件数	0	0
	(セルに記載)		ポイント計	0	0
(e) チュートリアル	参加 1 回	2	件数	0	0
	シナリオ作成・BU	10	件数	0	0
			ポイント計	0	0
(f) 基礎実習	1 回/日	1	件数	0	0
			ポイント計	0	0
(g) BSL	1 週間以上/年	40	件数	0	0
	1 週間未満/年	20	件数	0	0
			ポイント計	0	0
(h) クリクラ	1 名	5	人数	0	0
			ポイント計	0	0
(i) OSCE	評価者/station	5	件数	0	0
	学内・学外共通		ポイント計	0	0
(j) CBT	問題作成	5	件数	0	0
	ブラッシュアップ(BU)	10	件数	0	0
			ポイント計	0	0
(k) 卒業試験	問題作成	5	件数	0	0
	ブラッシュアップ	15	件数	0	0
			ポイント計	0	0
(1) 入学試験	問題作成	20	件数	0	0
	採点	10	件数	0	0
	面接/回	5	件数	0	0
	監督/回	5	件数	0	0
			ポイント計	0	0
(2) 研修医教育	1 名	1	件数	0	0
	(セルに記載)		ポイント計	0	0
(3) 大学院教育	直接指導/1 名	10	件数	0	0
	(セルに記載)		ポイント計	0	0
(4) 教員教育 (FD)	タスクフォース/回	5	件数	0	0
	(セルに記載)		ポイント計	0	0
(5) 医療従事者教育	講義/回	5	件数	0	0
	(セルに記載)		ポイント計	0	0
(6) その他	具体的に記載	5	件数	0	0
	(セルに記載)		ポイント計	0	0
			ポイント合計	0	0

2研究

2研究	基準単位	単位ポイント		2014	小計
(1) 著書, 教科書等		点/冊			
(a) 著書・教科書 (説明参照)	英文	15	件数	0	0
	和文	10	件数	0	0
			ポイント計	0	0
(b) 参考書等 (説明参照)	英文	10	件数	0	0
	和文	5	件数	0	0
			ポイント計	0	0
(c) その他 (説明参照)	(セルに記載)	3	件数	0	0
			ポイント計	0	0
			ポイント小計	0	0
(2) 原著論文	インパクトファクターの調べ方	1編当たり			
(a) 欧文誌 1	IF \geq 5 1st/2nd/correspond	15	件数	0	0
	Web of science ID または PubMedに掲載されている論文	3	件数	0	0
			ポイント計	0	0
	IF \geq 1 1st/2nd/correspond	10	件数	0	0
	IF \geq 1 others	2	件数	0	0
			ポイント計	0	0
	IF<1 1st/2nd/correspond	5	件数	0	0
	IF<1 others	1	件数	0	0
			ポイント計	0	0
	IFなし 1stのみ	3	件数	0	0
			ポイント計	0	0
(b) 欧文誌 2	1stのみ評価	3	件数	0	0
	上記以外の論文		ポイント計	0	0
(c) 和文誌 1	学会誌などで筆頭者のみ評価	2	件数	0	0
	医中誌に掲載されている論文		ポイント計	0	0
	その他で筆頭者のみ評価	1	件数	0	0
			ポイント計	0	0
(d) 和文誌 2	筆頭者のみ評価	1	件数	0	0
	上記以外の論文 研究報告書などもここに記載 (セルに記載)		ポイント計	0	0
			ポイント小計	0	0
(3) 学会報告					
(a) 国際学会	特別講演演者	20	件数	0	0
	特別講演座長	10	件数	0	0
			ポイント計	0	0
	シンポジウム演者	15	件数	0	0
	シンポジウム座長	10	件数	0	0
			ポイント計	0	0
	一般口演演者	10	件数	0	0
	一般口演座長	5	件数	0	0
			ポイント計	0	0
	ポスター発表者	2	件数	0	0
			ポイント計	0	0
(b) 国内学会	特別講演演者	15	件数	0	0
	特別講演座長	10	件数	0	0
			ポイント計	0	0
	シンポジウム演者	10	件数	0	0
	シンポジウム座長	10	件数	0	0
			ポイント計	0	0
	一般口演演者	5	件数	0	0
	一般口演座長	3	件数	0	0
			ポイント計	0	0
	ポスター発表者	1	件数	0	0
			ポイント計	0	0
(c) 地方会レベル	特別講演演者	5	件数	0	0
			ポイント計	0	0
	シンポジウム演者	3	件数	0	0
			ポイント計	0	0
	一般口演演者	1	件数	0	0
			ポイント計	0	0
(d) 研究会レベル	特別講演演者	3	件数	0	0
	一般発表者	1	件数	0	0
			ポイント計	0	0
			ポイント小計	0	0

2研究

(4) 受賞					
(a) 全国レベル	国際レベルに匹敵	50	件数	0	0
	上記以外	30	件数	0	0
			ポイント計	0	0
(b) 地方レベル	地方でトップクラスの賞	30	件数	0	0
	上記以外	10	件数	0	0
			ポイント計	0	0
(c) 学会関係	学会で優れた功績を顕彰	20	件数	0	0
	最優秀演題	10	件数	0	0
	優秀演題	5	件数	0	0
			ポイント計	0	0
(d) その他	(セルに記載)	10	件数	0	0
			ポイント計	0	0
			ポイント小計	0	0
(5) 外部資金獲得					
	研究費(継続年もカウントする)	点/件			
	公的機関の研究助成金 代表	30	件数	0	0
	科研/厚労科研/文科省など 分担	10	件数	0	0
			ポイント計	0	0
(代表のみ評価)	財団・NPOなどの研究助成金 代表	10	件数	0	0
			ポイント計	0	0
	企業との受託・共同研究/件	10	件数		0
			ポイント計	0	0
			ポイント小計	0	0
			ポイント合計	0	0

3組織運営

領域合計点へ	3 組織運営	基準単位	単位ポイント		2014	小計
	委員会名簿参照	1年間	1委員会あたり			
	(1) 大学の委員会	委員	2	件数	0	0
		委員長	5	件数	0	0
		(セルに記載)		ポイント計	0	0
	(2) 学部の委員会	委員	2	件数	0	0
		委員長	5	件数	0	0
		(セルに記載)		ポイント計	0	0
	(3) 病院の委員会	委員	2	件数	0	0
		委員長	5	件数	0	0
		(セルに記載)		ポイント計	0	0
	(4) 講座関係	医局長・講座長病棟・外来医長	5	件数	0	0
				ポイント計	0	0
	(5) その他	具体的に	5	件数	0	0
		(セルに記載)		ポイント計	0	0
				ポイント合計	0	0

4社会貢献

領域合計点へ

4 社会貢献		基準単位	単位ポイント		2014	小計
(1) 学内			点/回			
	公開講座講師	5	件数	0	0	
	(セルに記載)		ポイント計	0	0	
	新入生ガイダンス講師	5	件数	0	0	
	(セルに記載)		ポイント計	0	0	
	その他のイベントの講師	5	件数	0	0	
	(セルに記載)		ポイント計	0	0	
(2) 学外		役職/年	点/役			
	公開講座講師	10	件数	0	0	
	(セルに記載)		ポイント計	0	0	
(a) 国際または全国規模の学会		理事・監事	20	件数	0	0
	(セルに記載)		ポイント計	0	0	
	評議員・代議員・幹事	10	件数	0	0	
	(セルに記載)		ポイント計	0	0	
	大会長	20	件数	0	0	
	(セルに記載)		ポイント計	0	0	
	その他	10	件数	0	0	
	(セルに記載)		ポイント計	0	0	
(b) 地方会レベルの学会		理事・監事	10	件数	0	0
	(セルに記載)		ポイント計	0	0	
	評議員・代議員・幹事	5	件数	0	0	
	(セルに記載)		ポイント計	0	0	
	大会長	10	件数	0	0	
	(セルに記載)		ポイント計	0	0	
(c) 行政		国	委員会などの委員	10	件数	0
	自治体	委員会などの委員	5	件数	0	0
	(セルに記載)		ポイント計	0	0	
	その他	10	件数	0	0	
	(セルに記載)		ポイント計	0	0	
(d) マスコミ		新聞・TV報道	全国レベル	20	件数	0
			地方レベル	10	件数	0
	(セルに記載)		ポイント計	0	0	
	交流	教育・研究連携	5	件数	0	0
		医療連携	5	件数	0	0
	(セルに記載)		ポイント計	0	0	
			ポイント合計	0	0	

教員評価表（看護学部）

所属	職名	職員番号	氏名	提出期限
		0		2015/10/16

領域	2014	2015	2016	合計
1教育(看)	0.0			0.0
2研究(看)	0.0			0.0
3組織運営(看)	0.0			0.0
4社会貢献(看)	0.0			0.0
総合ポイント	0.0			0.0

1. 教育 領域合計点へ ポイント合計
0.0

(1) 学部教育

(a) 授業

<ul style="list-style-type: none"> ■ 科目責任者(教養・専門ゼミも含む) 3点 ■ 試験・レポート採点(問題作成も含む) 1回2点(レポート・定期のみのときは1回、中間を含むときは2回) ■ 講義 1コマ2点(AB、2クラスに分けて行う場合それぞれ2点とする) ■ 演習 1コマ1点 ■ 教養ゼミ、専門ゼミ 1コマ1点 									
授業科目名	学年	学期	講義コマ数	演習/教養・専門ゼミ コマ数	成績評価の有無 (試験・レポート)	※新規 定期/中間試験 /レポートの回数	※新規 再試験の回数	科目責任者	ポイント
例)病態治療学1	2	前期	15	3	試験	1	2	有	44.0
									0.0
									0.0
									0.0

ポイント小計
0.0

医学部授業

授業科目名	学年	学期	講義コマ数	学部名	ポイント
例)分子病態学	3	前期	1	医学部	2.0
					0.0
					0.0

ポイント小計
0.0

(b) 実習

<ul style="list-style-type: none"> ■ 実習 1日1点 ■ 科目責任者 実習期間あたり3点 ■ 成績評価 実習全クールあたり2点 							
授業科目名	学年	学期	担当日数	追再実習日数	科目責任者	※新規 成績評価	ポイント
例)療養生活支援	3	後期	40	5	有	有	50.0
							0.0
							0.0
							0.0

ポイント小計
0.0

(c) 卒業研究

<ul style="list-style-type: none"> ■ 個人研究 1名 10点 ■ グループ研究 1名 2点(5名以内は1律10点) 					
科目名	研究課題	学生名	※新規 研究種類	※新規 人数	ポイント
					0.0
					0.0

ポイント小計
0.0

(d) 看護総合

■ 問題作成 1問0.5点			
問題作成試験 科目名	試験名	問題数	ポイント
例)形態・病態	看護総合1回目	30	15.0
			0.0
			0.0

ポイント小計
0.0

■ 解説講義 1回1点				
解説講義 担 当領域	試験名	※新規 実施回数	実施日	ポイント
例)病態治療学	看護総合1回目	1	2月1日	1.0
				0.0
				0.0

ポイント小計
0.0

(e) 入試(推薦・社会人)

■ 問題作成・採点 10点		
■ 面接 5点		
試験科目名	実施日	ポイント
例)小論文	2月1日	10.0
		0.0
		0.0

ポイント小計
0.0

入試(一般)

■ 一般問題作成・採点20点、採点のみ5点			
試験科目名	実施日	問題作成	ポイント
例)国語	2月1日	問題作成・採点	20.0
			0.0
			0.0

ポイント小計
0.0

(f) 国試対策

■ 補講 1コマ2点			
補講科目	実施時期	コマ数	ポイント
			0.0
			0.0

ポイント小計
0.0

(2) 卒後教育

■ 講習会講師 1コマ2点 (医大病院看護部に限る)			
補講科目	実施時期	コマ数	ポイント
			0.0
			0.0

ポイント小計
0.0

(3) 大学院教育

(a) 授業

<ul style="list-style-type: none"> ■ 科目責任者 3点 ■ 講義 1コマ2点 ■ 演習 1コマ2点 						
授業科目名	学年	学期	講義コマ数	演習コマ数	科目責任者	ポイント
						0.0
						0.0
						0.0

ポイント小計
0.0

(b)実習

■実習 1日1点					
■科目責任者 実習期間あたり3点					
授業科目名	学年	学期	担当日数	科目責任者	ポイント
					0.0
					0.0

ポイント小計
0.0

(c)修士論文

■主査 20点		
■副査 5点		
■審査委員 5点		
主査 領域名	学生名	ポイント
愛知 花子	愛知 花子	20.0
		0.0
		0.0

ポイント小計
0.0

副査 領域名	学生名	ポイント
例)精神	愛知 花子	5.0
		0.0
		0.0

ポイント小計
0.0

審査 領域名	学生名	ポイント
例)母性	愛知 花子	5.0
		0.0
		0.0

ポイント小計
0.0

(d)入試

■問題作成・採 10点				
■面接 5点				
試験科目名	実施日	問題作成	面接	ポイント
例)老年	2月1日	有	有	15.0
				0.0
				0.0

ポイント小計
0.0

(3)看護実践センター

(a)授業

■科目調整者 2点				
■講義 1コマ2点				
■演習 1コマ1点				
授業科目名	講義コマ数	演習コマ数	科目調整者	ポイント
				0.0
				0.0
				0.0

ポイント小計
0.0

(b)実習

■科目調整者 2点			
■実習 1日1点			
授業科目名	担当日数	科目調整者	ポイント
			0.0
			0.0

ポイント小計
0.0

(c)修了試験

■問題作成 1問0.5点			
試験科目名	実施日	問題作成数・採点数	ポイント
			0.0
			0.0

ポイント小計
0.0

(d)入試

■問題作成・採 10点				
■面接 5点				
試験科目名	実施日	問題作成	面接	ポイント
例)老年	2月1日	有	有	15.0
				0.0
				0.0

ポイント小計
0.0

(e)センター研究指導

■1名 10点			
科目名	研究課題	学生名	ポイント
			0.0
			0.0

ポイント小計
0.0

2. 研究 領域合計点へ **ポイント合計 0.0**

(1) 著書、教科書

教科書分担執筆

■教科書分担執筆 英文	2
■教科書監修編集 英文	10
■教科書分担執筆 和文	1
■教科書監修編集 和文	5

著者	タイトル	誌名	巻	ページ	年	Pubmed ID	※新規 英文/和文	ポイント
								0.0
								0.0

ポイント小計
0.0

教科書監修編集

著者	タイトル	誌名	巻	ページ	年	Pubmed ID	※新規 英文/和文	ポイント
								0.0
								0.0

ポイント小計
0.0

DVD

■DVDなど	5	5
--------	---	---

著者	タイトル	誌名	巻	ページ	年	Pubmed ID	ポイント
							0.0
							0.0

ポイント小計
0.0

ガイドライン

■ガイドライン作成	10	作成者数
-----------	----	------

著者	タイトル	誌名	巻	ページ	年	Pubmed ID	※新規 作成者数	ポイント
								0.0
								0.0

ポイント小計
0.0

(2) 原著論文

(a) 欧文誌 1

(PubMed掲載有り)

■IF ≥ 5 1st/2nd/correspond	75	インパクトファクター(IF参照)
■IF ≥ 5 others	15	
■IF ≥ 1 1st/2nd/correspond	50	
■IF ≥ 1 others	10	
■IF < 1 1st/2nd/correspond	25	
■IF < 1 others	5	

著者	タイトル	誌名	巻	ページ	年	Pubmed ID	インパクトファク タ	※新規 IF区分	ポイント
例) Yamashita	Four paramete	J Hum Genet.	57	368-74	2012	22513715	2.57	IF ≥ 1 others	10.0
									0.0
									0.0
									0.0
									0.0

ポイント小計
0.0

(b) 欧文誌 2

(PubMed掲載のないもの、IFのないもの)

■1stのみ(重要な論文である理由)	15
■IF < 1 others	3
原著	総説・報告 資料

著者	タイトル	誌名	巻	ページ	年	※新規 区分	ポイント
							0.0
							0.0

ポイント小計
0.0

(c) 和文誌1

(全国規模学会誌)

■原著	筆頭者 10	■総説・報告	筆頭者 5	■資料	筆頭者 2
	2nd/correspond 5		others 1		others 1
	others 2				

著者	タイトル	原著・総説・報 告・資料	※新規 筆頭者	誌名	巻	ページ	年	医中誌ID	ポイント	
例) 井村幸恵、	透析室の看護	原著	2nd/correspon	日本環境感染		27	91-95	2012	2012187174	5.0
										0.0
										0.0
										0.0
										0.0

ポイント小計
0.0

(c) 和文誌2

(紀要その他: 査読のある雑誌)

■原著	筆頭者 5	■総説・報告	筆頭者 3	■資料	筆頭者 1
	2nd/correspond 3		others 1		others 0.5
	others 1				

著者	タイトル	原著・総説・報 告・資料	※新規 筆頭者	誌名	巻	ページ	年	医中誌ID	ポイント
									0.0
									0.0

ポイント小計
0.0

(c) 和文誌3

(査読のない雑誌)

■原著	筆頭者 3	■総説・報告	筆頭者 2	■資料	筆頭者 1
	others 1		others 1		others 0.5

著者	タイトル	原著・総説・報 告・資料	※新規 筆頭者	誌名	巻	ページ	年	医中誌ID	ポイント
									0.0
									0.0

ポイント小計
0.0

(3)学会報告 (演者は発表者のみをカウント)

(a) 国際学会

■特別講演演者	15
■特別講演座長	10
■シンポジスト演者	10
■シンポジスト座長	5
■一般口演演者	3
■一般口演座長	2
■ポスター発表者	2
■ポスター発表座長	1

学会名	講演の種類	演者	タイトル	年月日	開催地	ポイント
						0.0
						0.0
						0.0
						0.0
						0.0

ポイント小計
0.0

(b) 国内学会

■特別講演演者	15
■特別講演座長	10
■シンポジスト演者	10
■シンポジスト座長	5
■一般口演演者	3
■一般口演座長	2
■ポスター発表者	2
■ポスター発表座長	1

学会名	講演の種類	演者	タイトル	年月日	開催地	ポイント
例)第52回日本	ポスター	衣斐 達、佐藤	ミトコンドリア膜	2011.5.20	東京	2.0
						0.0
						0.0
						0.0
						0.0
						0.0
						0.0
						0.0

ポイント小計
0.0

(c) 地方会レベル

■特別講演演者	5
■特別講演座長	1
■シンポジスト演者	3
■シンポジスト座長	1
■一般口演演者	1
■一般口演座長	1

学会名	講演の種類	演者	タイトル	年月日	開催地	ポイント
						0.0
						0.0
						0.0
						0.0
						0.0
						0.0
						0.0

ポイント小計
0.0

(d) その他

■その他研究会などの発表演者	1
----------------	---

研究会名	講演の種類	演者	タイトル	年月日	開催地	ポイント
						0.0
						0.0

ポイント小計
0.0

(4)受賞

(a) 全国レベル

■国際レベルに匹敵		50		
■上記以外		30		
賞の名称	発行団体	受賞年月日	※新規レベル	ポイント
				0.0
				0.0

ポイント小計
0.0

(b) 地方レベル

■地方でトップクラスの賞		30		
■上記以外		10		
賞の名称	発行団体	受賞年月日	※新規レベル	ポイント
				0.0
				0.0

ポイント小計
0.0

(c) 学会関係

■学会で優れた功績を顕彰		20		
■最優秀演題		20		
■優秀演題		5		
賞の名称	発行団体	受賞年月日	※新規レベル	ポイント
				0.0
				0.0

ポイント小計
0.0

(d) その他

10			
賞の名称	発行団体	受賞年月日	ポイント
			0.0
			0.0

ポイント小計
0.0

(5)外部資金獲得

(a) 公的機関の研究助成金

(科研/厚労科研/文科省など)

■公的機関の研究助成金 代表		30			
■科研/厚労科研/文科省など 分担		10			
研究費の名称	代表・分担	支給団体名	年月	※新規機関	ポイント
					0.0
					0.0

ポイント小計
0.0

(b) 財団・NPOなどの研究助成金

■財団・NPOなどの研究助成金					10
研究費の名称	代表・分担	支給団体名	年月	ポイント	
				0.0	
				0.0	

ポイント小計
0.0

(c) 企業との受託・共同研究/件

■企業との受託・共同研究/件					10
研究費の名称	代表・分担	支給団体名	年月	ポイント	
				0.0	
				0.0	

ポイント小計
0.0

3. 組織運営 (委員会名簿参照)	領域合計点へ	ポイント合計 0.0
-------------------	--------	----------------------

(1)大学の委員会／WG

■任期が通年の委員長・委員については4月1日からのものをポイント換算する
(出席点はH24年1月1日から換算する)

■任期が通年でない委員会、WGについては、開始がH24年1月1日からのものとする
(出席点については前年度開始のものもポイント換算する)

■委員としての役職ポイントと出席回数を合計する

■委員 2点 出席点 1回0.5点

■委員長 5点

委員会名	出席回数	役職	期間	ポイント
				0.0
				0.0

ポイント小計
0.0

(2)学部の委員会

委員会名	出席回数	役職	期間	ポイント
例)FD委員会	8	委員	H23.4～	6.0
				0.0
				0.0
				0.0

ポイント小計
0.0

学部のWG

名称	出席回数	役職	期間	ポイント
例)防災WG	5	委員	8月20日～	4.5
				0.0
				0.0

ポイント小計
0.0

大学院の委員

名称	出席回数	役職	期間	ポイント
				0.0
				0.0

ポイント小計
0.0

実践センターの委員

名称	出席回数	役職	期間	ポイント
				0.0
				0.0

ポイント小計
0.0

(3)病院の委員会／WG

委員会名	出席回数	役職	期間	ポイント
				0.0
				0.0

ポイント小計
0.0

(4)学部の役割

■任期が通年のものは4月1日からのものをポイント換算する

■学年主任(アドバイザーに加算) 5点

■副主任(アドバイザーに加算) 2点

■アドバイザー 1学年3点

■学校医 10点

■ハラスメント相談員 5点

	※新規有／無	学年	期間	ポイント
学年主任				0.0
学年副主任				0.0
アドバイザー				0.0
学校医				0.0
ハラスメント相談員				0.0

ポイント小計
0.0

入学試験(大学センター試験を含む)

■一般入試

本部長 5点

本部長 3点

本部長 2点

本部長 1点

会場責任者 3点

(会場責任者、健康診断委員長も兼ねる)

会場副責任者 1点

試験監督 1点

健康診断委員 1点

センター試験監 1点

試験監督 1点

受付・救護 1点

採点補助 1点

試験名	役職	月日	ポイント
例)一般入試	監督	2月1日	1.0
一般入試			0.0
推薦・社人入試			0.0
センター試験			0.0

ポイント小計
0.0

試験監督(看護総合も含む)

■試験監督 1回0.5点

試験名	学年	月日	ポイント
例)病態治療1日	2	6月25日	0.5
			0.0
			0.0
			0.0

ポイント小計
0.0

学部各種行事への参加

■学部行事		
■新入生研修	企画委員5点	参加1点
■救命講習会	企画委員2点	参加0.5点
■防災訓練	企画1点	参加0.5点
■FD研修	企画1点	参加0.5点
■キャンドルセレモニー	委員1点	
■短期海外留学	引率10点	
■入学/卒業式	参加0.5点	
■大学祭監督	0.5点	
■その他の役割分担	1回0.5点	

行事名	役割	月日	※新規日数	ポイント
例)新入生研修	企画委員	4月20, 21日	5.0	5.0
				0.0
				0.0
				0.0
				0.0
				0.0
				0.0
				0.0

ポイント小計
0,0

大学院入学試験

■本部長	3点
■本部長	1点
■(会場責任者、健康診断委員長も兼ねる)	
■試験監督	1点

試験名	役職	月日	ポイント
			0.0
			0.0

ポイント小計
0,0

大学院行事への参加

■準備委員	1点
■参加	0.5点

行事名	役割	月日	ポイント
			0.0
			0.0

ポイント小計
0,0

実践センター入学試験

■本部長	3点
■本部長	1点
■試験監督	1点

試験名	役職	月日	ポイント
			0.0
			0.0

ポイント小計
0,0

センター行事への参加

■準備委員	1点
■参加	0.5点

行事名	役割	月日	ポイント
			0.0
			0.0

ポイント小計
0,0

4. 社会貢献	領域合計点へ	ポイント合計 0.0
---------	--------	----------------------

(1) 学内

(a) 医学部への貢献

研究指導

■大学院研究指導 1名 10点					
領域	指導対象者氏名	研究課題	期間	※新規人数	ポイント
a					0.0
					0.0

ポイント小計
0.0

(b) 病院への貢献

診療

■外来診療 1コマ(半日)1点				
診療科	コマ/週	期間	※新規週数	ポイント
				0.0
				0.0

ポイント小計
0.0

(c) 大学公開講座講師

■公開講座講師 10点 (癌プロジェクト公開講座も含む)			
公開講座名	開催日	タイトル	ポイント
			0.0
			0.0

ポイント小計
0.0

(2) 学外

(a) 学会

(i) 国際または全国規模の役員

■全国規模の学会の理事・監事 20点			
■評議員・代議員 10点			
■その他の委員 5点			
学会名	役職	期間	ポイント
			0.0
			0.0
			0.0

ポイント小計
0.0

(ii) 地方会の役員

■地方会の理事・監事 10点			
■地方会レベルの役員 5点			
■看護協会の役員 5点			
学会名	役職	期間	ポイント
			0.0
			0.0
			0.0

ポイント小計
0.0

(iii) 学会開催

■全国規模の学会の会長 20点				
■全国規模の学会の委員 3点				
■地方会の会長 10点				
■地方会の学会開催時の委員 1点				
開催学会名	開催日	開催場所	役職	ポイント
				0.0
				0.0
				0.0
				0.0

ポイント小計
0.0

(b) 政府

■委員会など 10点			
委員会の名称	名前	期間	ポイント
			0.0
			0.0

ポイント小計
0.0

(c) 自治体

■委員会など 5点			
委員会の名称	名前	期間	ポイント
			0.0
			0.0

ポイント小計
0.0

(d) 新聞・テレビ報道

■全国レベル 20点				
■地方レベル 10点				
メディア名	月日	内容	※新規レベル	ポイント
				0.0
				0.0

ポイント小計
0.0

(e)交流

(i)教育・研究連携

■講習会・研修会の講師							
3時間を超えるもの 2点							
3時間以内のもの 1点							

組織名	月日	開催場所	規模(参加者数)	※新規 時間区分	時間	内容	ポイント
							0.0
							0.0
							0.0

ポイント小計
0.0

(ii)他大学での講義

■講義 1コマ1点					
-----------	--	--	--	--	--

大学・学部名	授業科目名	学年	学期	講義コマ数	ポイント
例)A大学	分子病態学	3	前期	1	1.0
					0.0
					0.0
					0.0

ポイント小計
0.0

(iii)医療連携

■ 1回1点							
--------	--	--	--	--	--	--	--

組織名	※新規 回数	月日	場所	規模	時間	内容	ポイント
							0.0
							0.0

ポイント小計
0.0

(iv)職能団体などの委員

■委員 2点				
--------	--	--	--	--

組織名	委員の名称	名前	期間	ポイント
				0.0
				0.0

ポイント小計
0.0

部門・所属一覧

部門	所属	
基礎科学	<基礎科学>一般教育科目心理学	
	<基礎科学>一般教育科目数学	
	<基礎科学>一般教育科目物理学	
	<基礎科学>一般教育科目化学	
	<基礎科学>一般教育科目生物学	
	<基礎科学>外国語科目外国語	
	<基礎科学>一般教育科目哲学	
基礎医学	<基礎医学>解剖学	
	<基礎医学>生理学	
	<基礎医学>生化学	
	<基礎医学>薬理学	
	<基礎医学>病理学	
	<基礎医学>感染・免疫学	
	<基礎医学>衛生学	
	<基礎医学>公衆衛生学	
	<基礎医学>法医学	
臨床・内科学	内科学(消化管内科)	
	内科学(肝胆膵内科)	
	内科学(循環器内科)	
	内科学(呼吸器・アレルギー内科)	
	内科学(内分泌・代謝内科)	
	内科学(神経内科)	
	内科学(腎臓・リウマチ膠原病内科)	
	内科学(血液内科)	
	内科学(糖尿病内科)	
	病院消化管内科	
	病院肝胆膵内科	
	病院循環器内科	
	病院呼吸器・アレルギー内科	
	病院内分泌・代謝内科	
	病院神経内科	
	病院腎臓・リウマチ膠原病内科	
	病院血液内科	
	病院糖尿病内科	
	臨床・外科学	外科学(消化器外科)
		外科学(呼吸器外科)
外科学(乳腺・内分泌外科)		
外科学(腎移植外科)		
外科学(心臓外科)		
外科学(血管外科)		
病院消化器外科		
病院心臓外科		
病院血管外科		
病院呼吸器外科		
病院乳腺・内分泌外科		
臨床・その他	<臨床医学>精神科学	
	<臨床医学>小児科学	
	<臨床医学>脳神経外科学	
	<臨床医学>整形外科	
	<臨床医学>皮膚科学	
	<臨床医学>泌尿器科学	
	<臨床医学>眼科学	
	<臨床医学>耳鼻咽喉科学	
	<臨床医学>産婦人科学	
	<臨床医学>放射線医学	
	<臨床医学>麻酔科学	

部門	所属
臨床・その他	病院精神神経科
	病院小児科
	病院脳神経外科
	病院整形外科
	病院皮膚科
	病院泌尿器科
	病院産科・婦人科
	病院眼科
	病院眼形成・眼窩・涙道外科
	病院耳鼻咽喉科
	病院放射線科
	病院麻酔科
	病院総合診療科
	病院形成外科
	病院救命救急科
	病院リハビリテーション科
	病院睡眠科
	病院感染症科
	病院病理診断科
	病院歯科口腔外科
	中央臨床検査部管理室
	救急診療部
	輸血部
	周産期母子医療センター
	脳卒中センター
	臨床腫瘍センター
	周術期集中治療部
	脊椎脊髄センター
	臨床研究支援センター
	先制・統合医療包括センター
	栄養治療支援センター
	医療安全管理室
	卒後臨床研修センター
病院医療情報部	
附属施設等	造血細胞移植振興寄附講座
	分子標的医薬探索寄附講座
	腫瘍免疫寄附講座
	腎疾患・移植免疫学寄附講座
	先端レーザー医学寄附講座
	地域医療教育学寄附講座
	メディカルクリニック
	産業保健科学センター
	運動療育センター
	学際的痛みセンター
	医学教育センター
	シミュレーションセンター
	総合医学研究機構動物実験部門
	高度研究機器部門
	研究創出支援センター
災害医療研究センター	
加齢医科学研究所	
加齢医科学研究所神経病理部門	
分子医科学研究所	
分子医科学研究所第一部門	